

部 会 別 審 議 内 容

部 会 名	第1部会	種 目	国語
審議会委員名	藤原 裕美、岩永 雅浩、菅原 巧、石川 直美		
調査員氏名	山本 泉美、石垣 友和	記 録 者 氏 名	菅野 裕介
審 議 内 容	1 説明内容		
	<p>(1) 調査研究の対象について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発行者 3者(東書、教出、光村) ○ 冊数 東書10冊、教出12冊、光村10冊 合計32冊 <p>(2) 調査研究の方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3者のそれぞれの教科書見本について、学習指導要領の総則及び国語の目標等を踏まえ、調査研究の観点に基づいて調査研究を行った。 ・調査研究の過程において、学識経験者から意見を求めるとともに、8名の調査員全員で適宜意見交換を行った。 ・研究の結果について調査員全員で協議、検討の上、採択参考資料の案をまとめた。 <p>(3) 様式1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語の目標等について <p>(4) 様式2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容について <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられている具体的な記述 ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容、発展的な学習内容などの具体的な記述 ○ 内容の構成・排列、分量について <ul style="list-style-type: none"> ・内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されている具体的な記述 ・内容の分量について全体の量と前回との比較 ○ 使用上の配慮等について <ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習意欲を高める工夫の具体例 ・自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるような具体例 ・使用上の便宜が図られている具体例 ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・学習者用デジタル教科書の発行について <p>(5) 様式3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究対象とした3項目と調査項目にした理由の具体例 <p>(6) 様式4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様式3の内容にかかわる調査項目の数値 		
審 議 内 容	2 質問、意見及び説明		
	<p>(委員) ・各者の特徴的な教材としてどのようなものが示されているのか。</p> <p>(調査員) ・伝統的な教材として、「竹取物語等を声に出して読む教材」「枕草子にならって季節を紹介する教材」「浦島太郎を読む教材」などが示されている。</p> <p>(委員) ・北海道とかかわりのある内容としてどのような内容を取り上げているのか。</p> <p>(調査員) ・趣意書等に示されている「北海道」、「北海道の地図」、「アイヌ語」の教材数を調査研究した。</p> <p>(委員) ・SDGsに関する教材は取り上げられているのか。</p> <p>(調査員) ・SDGsを題材にパンフレットを作成する学習活動が掲載されていたり、二次元コードにより、持続可能な開発目標の資料やSDGsに関する動画等が掲載されたりしている。</p> <p>(委員) ・LGBTに関する教材は取り上げられているのか。</p> <p>(調査員) ・一者の第6学年に教材の中に「性的な志向」という言葉が扱われている。二者については、記載がない。</p> <p>(委員) ・各者の分量の増えたのか。</p> <p>(調査員) ・発行者により増減の状況は異なる。</p> <p>(委員) ・「～したり、～したり」という記載で配慮したことはあるか。読点が入っている箇所とない箇所があるので、見直してはどうか。</p> <p>(調査員) ・今後、見直す。</p>		

部 会 別 審 議 内 容

部 会 名	第1部会	種 目	書写
審議会委員名	藤原 裕美、岩永 雅浩、菅原 巧、石川 直美		
調査員氏名	森田 雅彦、大内 崇	記録者氏名	石垣 友和
審 議 内 容	1 説明内容		
	<p>(1) 調査研究の対象について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発行者 3者（東書、教出、光村） ○ 冊 数 東書6冊、教出6冊、光村6冊 合計18冊 <p>(2) 調査研究の方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3者のそれぞれの教科書見本について、学習指導要領の総則及び国語の目標等を踏まえ、調査研究の観点に基づいて調査研究を行った。 ・調査研究の過程において、学識経験者から意見を求めるとともに、5名の調査員全員で適宜意見交換を行った。 ・研究の結果について調査員全員で協議、検討の上、採択参考資料の案をまとめた。 <p>(3) 様式1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語の目標等について <p>(4) 様式2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容について <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられている具体的な記述 ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容、発展的な学習内容などの具体的な記述 ○ 内容の構成・排列、分量について <ul style="list-style-type: none"> ・内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されている具体的な記述 ・内容の分量について全体の量と前回との比較 ○ 使用上の配慮等について <ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習意欲を高める工夫の具体例 ・自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるような具体例 ・使用上の便宜が図られている具体例 ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・学習者用デジタル教科書の発行について <p>(5) 様式3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究対象とした3項目と調査項目にした理由の具体例 <p>(6) 様式4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様式3の内容にかかわる調査項目の数値 		
	2 質問、意見及び説明		
	<p>(委 員) ・国語科との関連はどのように示されているのか。</p> <p>(調査員) ・各者において、国語との関連を図るマークやコーナーが設けられている。</p> <p>(委 員) ・新型コロナウイルス感染症と関連のある記載はあるのか。</p> <p>(調査員) ・各者とも、教科書の冒頭や裏表紙において、感染予防について記載している。</p> <p>(委 員) ・前回の改訂時とのページ数の増減について、教科書の重さが話題になることがあるため、全教科共通の対応をした方がよい。</p> <p>(委 員) ・書くときの姿勢に関する記述について調査研究をしていないのか。</p> <p>(調査員) ・姿勢について扱っていない発行者があるため、調査項目として記載していない。</p>		

部 会 別 審 議 内 容

部 会 名	第1部会	種 目	生活
審議会委員名	藤原 裕美、岩永 雅浩、菅原 巧、石川 直美		
調査員氏名	菅野 裕介、國木 勇輔	記録者氏名	大内 崇
審 議 内 容	1 説明内容		
	<p>(1) 調査研究の対象について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発行者 7者（東書、大日本、学図、教出、信教、光村 啓林館） ○ 冊 数 東書2冊、大日本2冊、学図2冊、教出2冊、信教2冊、光村2冊 啓林館2冊 合計14冊 <p>(2) 調査研究の方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7者のそれぞれの教科書見本について、学習指導要領の総則及び生活の目標等を踏まえ、調査研究の観点に基づいて調査研究を行った。 ・調査研究の過程において、学識経験者から意見を求めるとともに、3名の調査員全員で適宜意見交換を行った。 ・研究の結果について調査員全員で協議、検討の上、採択参考資料の案をまとめた。 <p>(3) 様式1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の目標等について <p>(4) 様式2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容について <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられている具体的な記述 ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容、発展的な学習内容などの具体的な記述 ○ 内容の構成・排列、分量について <ul style="list-style-type: none"> ・内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されている具体的な記述 ・内容の分量について全体の量と前回との比較 ○ 使用上の配慮等について <ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習意欲を高める工夫の具体例 ・自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるような具体例 ・使用上の便宜が図られている具体例 ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・学習者用デジタル教科書の発行について <p>(5) 様式3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究対象とした3項目と調査項目にした理由の具体例 <p>(6) 様式4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様式3の内容にかかわる調査項目の数値 		
	2 質問、意見及び説明		
	<p>(委員) ・中学年移行への接続について記載はあるのか。</p> <p>(調査員) ・全者、中学年へのつながりについて掲載している。</p> <p>(委員) ・スタート・カリキュラムについての掲載はあるのか。</p> <p>(調査員) ・全者、保護者への記載、学校生活の流れなどについて掲載している。</p> <p>(委員) ・多様性に配慮されているのか。</p> <p>(調査員) ・様々な年齢や人種のキャラクターを配置している。</p> <p>(委員) ・使用上の配慮等において、他教科では「～したり(全学年)」となっているが、生活科では、「(全学年)したり、」となっている。</p> <p>(調査員) ・表記を統一する方向で検討する。</p> <p>(委員) ・第3学年との関連は図られているのか。</p> <p>(調査員) ・全者、町の探検などにおいて、地図の読み方などの関連が図られている。</p> <p>(委員) ・二次元コードに関する記載について、教科により示す内容の具体が異なることから、各教科における調査研究の内容をそろえること。</p>		

部 会 別 審 議 内 容

部 会 名	第2部会	種 目	外国語
審議会委員名	川原 明子、黒島 泰彦、久保田 純史、東間 義孝		
調査員氏名	松本 了祐、熊崎 高士	記録者氏名	渡辺 祥太
審 議 内 容	1 説明内容		
	<p>(1) 調査研究の対象について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発行者 6者(東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館) ○ 冊数 東書3冊、開隆堂4冊、三省堂3冊、教出2冊、光村2冊、啓林館2冊、合計16冊 <p>(2) 調査研究の方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6者のそれぞれの教科書見本について、学習指導要領の総則及び外国語の目標等を踏まえ、調査研究の観点に基づいて調査研究を行った。 ・調査研究の過程において、学識経験者から意見を求めるとともに、10名の調査員全員で適宜意見交換を行った。 ・研究の結果について調査員全員で協議、検討の上、採択参考資料の案をまとめた。 <p>(3) 様式1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語の目標等について <p>(4) 様式2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容について <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられている具体的な記述 ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容、発展的な学習内容などの具体的な記述 ○ 内容の構成・排列、分量について <ul style="list-style-type: none"> ・内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されている具体的な記述 ・内容の分量について全体の量と前回との比較 ○ 使用上の配慮等について <ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習意欲を高める工夫の具体例 ・自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるような具体例 ・使用上の便宜が図られている具体例 ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・学習者用デジタル教科書の発行について <p>(5) 様式3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究対象とした3項目と調査項目にした理由の具体例 <p>(6) 様式4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様式3の内容にかかわる調査項目の数値 		
	2 質問、意見及び説明		
	<p>(委員) ・歌アニメーションとは何か。</p> <p>(調査員) ・編修趣意書に記載されている言葉であり、内容については、アニメーションの中に歌が入っているものである。</p> <p>(委員) ・デジタル教科書や二次元バーコードについての内容が記載されており、分かりやすい。</p> <p>(調査員) ・様式2の使用上の配慮等やその他において、二次元コードとデジタル教科書の特徴について、各者の特徴を記載した。</p> <p>(委員) ・北海道に関わる内容にはどのようなものがあるのか。</p> <p>(調査員) ・北海道に関わる内容については、様式5に示している内容のとおり。</p>		

部 会 別 審 議 内 容

部 会 名	第2部会	種 目	特別の教科 道徳
審議会委員名	川原 明子、黒島 泰彦、久保田 純史、東間 義孝		
調査員氏名	因 雅仁、長南 彩	記 録 者 氏 名	熊崎 高士
審 議 内 容	1 説明内容		
	<p>(1) 調査研究の対象について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発行者 6者(東書、教出、光村、日文、光文、学研) ○ 冊 数 東書6冊、教出6冊、光村6冊、日文6冊、光文6冊、学研6冊 合計36冊 <p>(2) 調査研究の方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6者のそれぞれの教科書見本について、学習指導要領の総則及び道徳の目標等を踏まえ、調査研究の観点に基づいて調査研究を行った。 ・調査研究の過程において、学識経験者から意見を求めるとともに、10名の調査員全員で適宜意見交換を行った。 ・研究の結果について調査員全員で協議、検討の上、採択参考資料の案をまとめた。 <p>(3) 様式1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の目標等について <p>(4) 様式2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容について <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられている具体的な記述 ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容、発展的な学習内容などの具体的な記述 ○ 内容の構成・排列、分量について <ul style="list-style-type: none"> ・内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されている具体的な記述 ・内容の分量について全体の量と前回との比較 ○ 使用上の配慮等について <ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習意欲を高める工夫の具体例 ・自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるような具体例 ・使用上の便宜が図られている具体例 ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・学習者用デジタル教科書の発行について <p>(5) 様式3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究対象とした3項目と調査項目にした理由の具体例 <p>(6) 様式4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様式3の内容にかかわる調査項目の数値 		
	2 質問、意見及び説明		
	<p>(委員) ・東京書籍の「心のちから」の記載場所はどこか。</p> <p>(調査員) ・巻頭ページに記載されている。</p> <p>(委員) ・東京書籍の「どんな学びをするのかな」の記載場所はどこか。</p> <p>(調査員) ・第2学年においては、P6、7に記載されており、すべての学年に「どんな学びをするのかな」は記載されている。</p> <p>(委員) ・二次元コードの内容については、各者の記載の具体性等に差が出るのではないか。</p> <p>(調査員) ・各者の内容解説資料に記載されている文語を活用して作成した。</p> <p>(委員) ・「いじめ」の扱いの具体について説明していただきたい。</p> <p>(調査員) ・例えば、友だちがいてよかったことやよいことをするとどんな気持ちになるのかを考えることにより、いじめについての考えを深めるきっかけとしている。</p>		

部 会 別 審 議 内 容

部 会 名	第2部会	種 目	体育 保健
審議会委員名	川原 明子、黒島 泰彦、久保田 純史、東間 義孝		
調査員氏名	駒津 和康、渡辺 祥太	記 録 者 氏 名	長南 彩
審 議 内 容	1 説明内容		
	<p>(1) 調査研究の対象について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発行者 6者(東書、大日本、大修館、文教社、光文、学研) ○ 冊 数 東書2冊、大日本2冊、大修館2冊、文教社2冊、光文2冊、学研2冊 合計12冊 <p>(2) 調査研究の方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6者のそれぞれの教科書見本について、学習指導要領の総則及び体育の目標等を踏まえ、調査研究の観点に基づいて調査研究を行った。 ・調査研究の過程において、学識経験者から意見を求めるとともに、3名の調査員全員で適宜意見交換を行った。 ・研究の結果について調査員全員で協議、検討の上、採択参考資料の案をまとめた。 <p>(3) 様式1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育の目標等について <p>(4) 様式2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容について <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられている具体的な記述 ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容、発展的な学習内容などの具体的な記述 ○ 内容の構成・排列、分量について <ul style="list-style-type: none"> ・内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されている具体的な記述 ・内容の分量について全体の量と前回との比較 ○ 使用上の配慮等について <ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習意欲を高める工夫の具体例 ・自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるような具体例 ・使用上の便宜が図られている具体例 ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・学習者用デジタル教科書の発行について <p>(5) 様式3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究対象とした3項目と調査項目にした理由の具体例 <p>(6) 様式4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様式3の内容にかかわる調査項目の数値 		
	2 質問、意見及び説明		
	<p>(委 員) ・SDGsについては、各者で扱っているのか。</p> <p>(調査員) ・1者以外の発行者において、マークで示したり、巻頭及び巻末資料で示したりしている。</p> <p>(委 員) ・新型コロナウイルス感染症については、各者で扱っているのか。</p> <p>(調査員) ・全者、第5・6学年の「病気の予防」において、マスクの付け方、手指消毒の仕方、感染拡大の予防の取組について扱われている。また、大修館書店、文教社、学研の第3・4学年の「健康な生活」において、換気の学習との関連付けで掲載されている。</p> <p>(委 員) ・がんについては、各者で扱っているのか。</p> <p>(調査員) ・全者、第5・6学年の「病気の予防」において、生活習慣病や喫煙による害などで扱われている。</p> <p>(委 員) ・内容排列の記載について、各者の記載に温度差がなく、分かりやすくよい。</p>		

部 会 別 審 議 内 容

部 会 名	第3部会	種 目	社会
審議会委員名	伊達 峰史、下山 弘美、若林 梨恵、安藤 尚志、谷渕 友美		
調査員氏名	関口 祐太郎、新栄 裕	記 録 者 氏 名	小野 晴子
審 議 内 容	1 説明内容		
	<p>(1) 調査研究の対象について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発行者 3者（東書、教出、日文） ○ 冊 数 東書6冊、教出4冊、日文4冊 合計14冊 <p>(2) 調査研究の方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3者のそれぞれの教科書見本について、学習指導要領の総則及び社会の目標等を踏まえ、調査研究の観点に基づいて調査研究を行った。 ・調査研究の過程において、学識経験者から意見を求めるとともに、8名の調査員全員で適宜意見交換を行った。 ・研究の結果について調査員全員で協議、検討の上、採択参考資料の案をまとめた。 <p>(3) 様式1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の目標等について <p>(4) 様式2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容について <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられている具体的な記述 ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容、発展的な学習内容などの具体的な記述 ○ 内容の構成・排列、分量について <ul style="list-style-type: none"> ・内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されている具体的な記述 ・内容の分量について全体の量と前回との比較 ○ 使用上の配慮等について <ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習意欲を高める工夫の具体例 ・自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるような具体例 ・使用上の便宜が図られている具体例 ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・学習者用デジタル教科書の発行について <p>(5) 様式3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究対象とした3項目と調査項目にした理由の具体例 <p>(6) 様式4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様式3の内容にかかわる調査項目の数値 		
	2 質問、意見及び説明		
	<p>(委員) ・様式4の空欄における線の有無を各社でそろえてはどうか。</p> <p>(調査員) ・修正する。</p> <p>(委員) ・児童が主体的に学習に取り組むための工夫について、インデックスを取り上げている発行者と、コーナーを取り上げている発行者があるが、全者とも、インデックスに関する工夫を取り上げてはどうか。</p> <p>(調査員) ・趣意書に基づいて記載している。</p> <p>(委員) ・SDGsに関する内容を調査研究しているか。</p> <p>(調査員) ・各者において、SDGsに関連するページを掲載している。</p> <p>(委員) ・内容の排列に関する項目において、まちづくりの単元を取り上げている発行者と防災の単元を取り上げている発行者があるが、なぜ、それらの単元を取り上げたのか。</p> <p>(調査員) ・題材を選択できる単元を取り上げている。</p> <p>(委員) ・二次元コードは各者どの程度取り上げられているか。</p> <p>(調査員) ・各者とも扱われており、3～6年の順で東書は39、42、65、57、教出は39、52、44、69、日文は96、102、179、190となっている。</p> <p>(委員) ・教科書の使い方について、各者どのように示しているか。</p> <p>(調査員) ・3者とも巻頭のページに示されている。</p> <p>(委員) ・様式5における「ウポポイ」の表記をそろえてはどうか。</p> <p>(調査員) ・各者の教科書の記述に基づいて示している。</p>		

部 会 別 審 議 内 容

部 会 名	第3部会	種 目	地図
審議会委員名	伊達 峰史、下山 弘美、若林 梨恵、安藤 尚志、谷渕 友美		
調査員氏名	山寺 潤、土佐林 洋介	記 録 者 氏 名	新栄 裕
審 議 内 容	1 説明内容		
	<p>(1) 調査研究の対象について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発行者 2者(東書、帝国) ○ 冊数 東書1冊、帝国1冊 合計2冊 <p>(2) 調査研究の方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2者のそれぞれの教科書見本について、学習指導要領の総則及び社会の目標等を踏まえ、調査研究の観点に基づいて調査研究を行った。 ・調査研究の過程において、学識経験者から意見を求めるとともに、3名の調査員全員で適宜意見交換を行った。 ・研究の結果について調査員全員で協議、検討の上、採択参考資料の案をまとめた。 <p>(3) 様式1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図の目標等について <p>(4) 様式2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容について <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられている具体的な記述 ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容、発展的な学習内容などの具体的な記述 ○ 内容の構成・排列、分量について <ul style="list-style-type: none"> ・内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されている具体的な記述 ・内容の分量について全体の量と前回との比較 ○ 使用上の配慮等について <ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習意欲を高める工夫の具体例 ・自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるような具体例 ・使用上の便宜が図られている具体例 ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・学習者用デジタル教科書の発行について <p>(5) 様式3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究対象とした3項目と調査項目にした理由の具体例 <p>(6) 様式4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様式3の内容にかかわる調査項目の数値 		
審 議 内 容	2 質問、意見及び説明		
	<p>(委員) ・各者二次元コードの箇所はあるか。</p> <p>(調査員) ・東書は37箇所、帝国は52箇所ある。</p> <p>(委員) ・帝国の取扱内容の3つ目の表記に「歴史の学習で活用できる」と言い切りになっているが、問題ないか。</p> <p>(調査員) ・趣意書に記載がある。</p>		

部 会 別 審 議 内 容

部 会 名	第3部会	種 目	家庭
審議会委員名	伊達 峰史、下山 弘美、若林 梨恵、安藤 尚志、谷渕 友美		
調査員氏名	中脇 尚子、道幸 篤史	記 録 者 氏 名	土佐林 洋介
審 議 内 容	1 説明内容		
	<p>(1) 調査研究の対象について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発行者 2者(東書、開隆堂) ○ 冊 数 東書1冊、開隆堂1冊 合計2冊 <p>(2) 調査研究の方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2者のそれぞれの教科書見本について、学習指導要領の総則及び家庭の目標等を踏まえ、調査研究の観点に基づいて調査研究を行った。 ・ 調査研究の過程において、学識経験者から意見を求めるとともに、4名の調査員全員で適宜意見交換を行った。 ・ 研究の結果について調査員全員で協議、検討の上、採択参考資料の案をまとめた。 <p>(3) 様式1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭の目標等について <p>(4) 様式2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容について <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられている具体的な記述 ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容、発展的な学習内容などの具体的な記述 ○ 内容の構成・排列、分量について <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されている具体的な記述 ・ 内容の分量について全体の量と前回との比較 ○ 使用上の配慮等について <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の学習意欲を高める工夫の具体例 ・ 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるような具体例 ・ 使用上の便宜が図られている具体例 ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習者用デジタル教科書の発行について <p>(5) 様式3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査研究対象とした3項目と調査項目にした理由の具体例 <p>(6) 様式4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様式3の内容にかかわる調査項目の数値 		
	2 質問、意見及び説明		
	<p>(委員) ・使用上の配慮におけるユニバーサルデザインフォントの表記について、優劣を付けない表記にした方がよい。</p> <p>(調査員) ・各者とも趣意書の表記を使用しているが、教科書にはユニバーサルデザインフォントと記載があることから、統一した表記とする。</p> <p>(委員) ・開隆堂にはページの下に豆知識が記載されているので、児童の興味・関心を引く特徴として取り上げてはどうか。</p> <p>(委員) ・英語の表記があり、児童の興味・関心を引く工夫がなされている。</p> <p>(委員) ・中学校とのつながりについての取扱いはどうなっているか。</p> <p>(調査員) ・各者とも中学校への接続が示されている。</p> <p>(委員) ・二次元コードは各者何箇所あるか。</p> <p>(調査員) ・東書は142箇所、開隆堂は237箇所ある。</p>		

部 会 別 審 議 内 容

部 会 名	第3部会	種 目	理科
審議会委員名	伊達 峰史、下山 弘美、若林 梨恵、安藤 尚志、谷渕 友美		
調査員氏名	堀 智大、小野 晴子	記 録 者 氏 名	道幸 篤史
審 議 内 容	1 説明内容		
	<p>(1) 調査研究の対象について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発行者 6者(東書、大日本、学図、教出、信教、啓林館) ○ 冊数 東書4冊、大日本4冊、学図4冊、教出4冊、信教4冊、啓林館4冊 合計24冊 <p>(2) 調査研究の方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6者のそれぞれの教科書見本について、学習指導要領の総則及び理科の目標等を踏まえ、調査研究の観点に基づいて調査研究を行った。 ・調査研究の過程において、学識経験者から意見を求めるとともに、7名の調査員全員で適宜意見交換を行った。 ・研究の結果について調査員全員で協議、検討の上、採択参考資料の案をまとめた。 <p>(3) 様式1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科の目標等について <p>(4) 様式2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容について <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられている具体的な記述 ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容、発展的な学習内容などの具体的な記述 ○ 内容の構成・排列、分量について <ul style="list-style-type: none"> ・内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されている具体的な記述 ・内容の分量について全体の量と前回との比較 ○ 使用上の配慮等について <ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習意欲を高める工夫の具体例 ・自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるような具体例 ・使用上の便宜が図られている具体例 ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・学習者用デジタル教科書の発行について <p>(5) 様式3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究対象とした3項目と調査項目にした理由の具体例 <p>(6) 様式4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様式3の内容にかかわる調査項目の数値 		
	2 質問、意見及び説明		
	<p>(委員) ・二次元コードから閲覧することができる Web ページの内容の特徴を記載してはどうか。</p> <p>(調査員) ・趣意書に掲載されている内容のみを記載した。</p> <p>(委員) ・二次元コードは各者何箇所あるか。</p> <p>(調査員) ・各者とも全学年で扱われており、3～6年の順に東書は126、150、121、128、大日本は151、141、128、150、学図は132、143、105、150、教出は41、56、65、67、信教は38、64、69、75、啓林館は82、72、107、105箇所ある。</p> <p>(委員) ・教出の使用上の配慮に記載されているユニバーサルフォントについては、「全学年」と記載されているが、他の教科と揃えて、学年を記載するとよい。</p> <p>(委員) ・啓林館の使用上の配慮において、「児童の豊かな表情」と記載があるが、主観的ではないか。</p> <p>(調査員) ・趣意書に記載のあった言葉を用いている。</p>		

部 会 別 審 議 内 容

部 会 名	第4部会	種 目	特別支援
審議会委員名	益子 忠行、三浦 智子、木挽 ひろみ、田中 敦士		
調査員氏名	高石 純、吉岡 奈穂子、鈴木 喬	記 録 者 氏 名	森 茂之
審 議 内 容	1 説明内容		
	<p>(1) 調査研究の対象について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発行者 8者(偕成社、学研プラス、金の星社、教育画劇、講談社、大日本絵画、BL出版、朝日新聞出版) ○ 冊 数 10冊(偕成社1冊、学研プラス1冊、金の星社3冊、教育画劇1冊、講談社1冊、大日本絵画1冊、BL出版1冊、朝日新聞出版1冊) <p>(2) 調査研究の方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10者のそれぞれの見本本について、学習指導要領の総則及び各教科、特別の教科 道徳の目標等を踏まえ、調査研究の観点に基づいて調査研究を行った。 ・調査研究の過程において、学識経験者から意見を求めるとともに、6名の調査員全員で適宜意見交換を行った。 ・研究結果について調査員全員で協議、検討の上、採択参考資料の案をまとめた。 <p>(3) 一般図書一覧について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容について <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の総則及び各教科、特別の教科 道徳の内容等に基づいて取り上げられている具体的な記述 ・内容の取り上げや表し方が、障がいの特性に即している記述と特徴 ・他教科等との関連 ○ 内容の程度・排列、分量等について <ul style="list-style-type: none"> ・内容の程度が、地域の実態や児童の生活経験、発達の段階、特性及び興味・関心などに配慮されている記述 ・内容の配列が、児童の発達の特性や学習内容の系統性などに配慮されている記述 ・内容の分量について児童の実態に即し、教科等にわたる適切な配慮 ○ 使用上の配慮等について <ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習意欲を高める工夫の具体例 ・児童が主体的に学習に取り組めるような具体例 ・印刷、造本に対する配慮について ○ その他について <ul style="list-style-type: none"> ・「取扱内容」、「内容の程度・排列、分量等」、「使用上の配慮等」に含まれないもので、全体を通じた特色について 		
審 議 内 容	2 質問、意見及び説明		
	<p>(委員) ・「はじめてのオーケストラ」において、デジタル音を教材として用いている意図は何か。</p> <p>(調査員) ・デジタル音は音がクリアに聞こえ、何度も再生できること、図書であるため持ち運んで他者に聞かせることができること、などの利点があり、児童生徒にとって親しみやすい教材である。</p> <p>(委員) ・「こどもせいかつ百科」は、実際の授業でどのように活用するのか。</p> <p>(調査員) ・日常生活の指導や生活単元学習、作業学習など、いわゆる「各教科等を合わせた指導」において、例えば、清掃を行う前に、本図書を活用して雑巾の使い方を確認するなど、基本的な生活習慣に必要な内容を指導するなどして活用する。</p>		

部 会 別 審 議 内 容

部 会 名	第4部会	種 目	音楽
審議会委員名	益子 忠行、三浦 智子、木挽 ひろみ、田中 敦士		
調査員氏名	横地 康恵、三笠 裕也	記 録 者 氏 名	高石 純
審 議 内 容	1 説明内容		
	<p>(1) 調査研究の対象について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発行者 2者(教出、教芸) ○ 冊 数 教出6冊、教芸6冊 合計12冊 <p>(2) 調査研究の方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2者のそれぞれの教科書見本について、学習指導要領の総則及び音楽の目標等を踏まえ、調査研究の観点に基づいて調査研究を行った。 ・調査研究の過程において、学識経験者から意見を求めるとともに、4名の調査員全員で適宜意見交換を行った。 ・研究の結果について調査員全員で協議、検討の上、採択参考資料の案をまとめた。 <p>(3) 様式1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽の目標等について <p>(4) 様式2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容について <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられている具体的な記述 ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容、発展的な学習内容などの具体的な記述 ○ 内容の構成・排列、分量について <ul style="list-style-type: none"> ・内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されている具体的な記述 ・内容の分量について全体の量と前回との比較 ○ 使用上の配慮等について <ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習意欲を高める工夫の具体例 ・自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるような具体例 ・使用上の便宜が図られている具体例 ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・学習者用デジタル教科書の発行について <p>(5) 様式3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究対象とした3項目と調査項目にした理由の具体例 <p>(6) 様式4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様式3の内容にかかわる調査項目の数値 		
	2 質問、意見及び説明		
	<p>(委員) ・二次元コードのリンク先にはどのようなものがあるのか。</p> <p>(調査員) ・動画及び関連するワークシートなどがある。</p> <p>(委員) ・二次元コードにはどのように接続するのか。</p> <p>(調査員) ・教師はもとより、子どもも1人1台端末を活用し、学校でも家庭でもアクセスできる。</p>		

部 会 別 審 議 内 容

部 会 名	第4部会	種 目	図画工作
審議会委員名	益子 忠行、三浦 智子、木挽 ひろみ、田中 敦士		
調査員氏名	児玉 祥洋、吉村 暢起	記 録 者 氏 名	三笠 裕也
審 議 内 容	1 説明内容		
	<p>(1) 調査研究の対象について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発行者 2者(開隆堂、日文) ○ 冊 数 開隆堂6冊、日文6冊 合計12冊 <p>(2) 調査研究の方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2者のそれぞれの教科書見本について、学習指導要領の総則及び図画工作の目標等を踏まえ、調査研究の観点に基づいて調査研究を行った。 ・ 調査研究の過程において、学識経験者から意見を求めるとともに、5名の調査員全員で適宜意見交換を行った。 ・ 研究の結果について調査員全員で協議、検討の上、採択参考資料の案をまとめた。 <p>(3) 様式1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図画工作の目標等について <p>(4) 様式2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容について <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられている具体的な記述 ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容、発展的な学習内容などの具体的な記述 ○ 内容の構成・排列、分量について <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されている具体的な記述 ・ 内容の分量について全体の量と前回との比較 ○ 使用上の配慮等について <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の学習意欲を高める工夫の具体例 ・ 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるような具体例 ・ 使用上の便宜が図られている具体例 ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習者用デジタル教科書の発行について <p>(5) 様式3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査研究対象とした3項目と調査項目にした理由の具体例 <p>(6) 様式4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様式3の内容にかかわる調査項目の数値 		
	2 質問、意見及び説明		
(委員)	・使用上の配慮でユニバーサルデザインについて示されているが、タイトルの色やデザインについて、色覚などの児童には心配な面がある発行者がある。		
(調査員)	・各者の趣意書や内容解説資料では、色やフォントサイズに配慮しているとの記載がある。		

部 会 別 審 議 内 容

部 会 名	第4部会	種 目	算数
審議会委員名	益子 忠行、三浦 智子、木挽 ひろみ、田中 敦士		
調査員氏名	鈴木 理抄、森 茂之	記 録 者 氏 名	吉村 暢起
審 議 内 容	1 説明内容		
	<p>(1) 調査研究の対象について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発行者 6者(東書、大日本、学図、教出、啓林館、日文) ○ 冊数 東書11冊、大日本7冊、学図12冊、教出9冊、啓林館10冊、日文10冊 合計59冊 <p>(2) 調査研究の方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6者のそれぞれの教科書見本について、学習指導要領の総則及び算数の目標等を踏まえ、調査研究の観点に基づいて調査研究を行った。 ・調査研究の過程において、学識経験者から意見を求めるとともに、8名の調査員全員で適宜意見交換を行った。 ・研究の結果について調査員全員で協議、検討の上、採択参考資料の案をまとめた。 <p>(3) 様式1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・算数の目標等について <p>(4) 様式2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱内容について <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられている具体的な記述 ・主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容、発展的な学習内容などの具体的な記述 ○ 内容の構成・排列、分量について <ul style="list-style-type: none"> ・内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されている具体的な記述 ・内容の分量について全体の量と前回との比較 ○ 使用上の配慮等について <ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習意欲を高める工夫の具体例 ・自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるような具体例 ・使用上の便宜が図られている具体例 ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・学習者用デジタル教科書の発行について <p>(5) 様式3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究対象とした3項目と調査項目にした理由の具体例 <p>(6) 様式4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様式3の内容にかかわる調査項目の数値 		
審 議 内 容	2 質問、意見及び説明		
	<p>(委員) ・算数の学習においては、国語における表現する力が必要と考えるが、調査の観点としなかったのはなぜか。</p> <p>(調査員) ・算数科の目標ではないため、調査の観点とはしていない。</p> <p>(委員) ・「ぐるうぷ」といった平仮名表記の箇所があるが、混乱する児童がいるのではないか。</p> <p>(調査員) ・片仮名を学習する前の段階であることから、こうした表記となっている。</p> <p>(委員) ・四領域の中で「データの活用」を取り上げたのはなぜか。</p> <p>(調査員) ・全者において、特に「データの活用」に特徴が見られたため、取り上げることとした。</p> <p>(委員) ・第1学年の教科書が2冊に分かれていることを調査項目にしなかったのはなぜか。</p> <p>(調査員) ・全者が2冊にしておらず、公平公正の観点から、調査項目としなかった。</p> <p>(委員) ・児童の混乱を避けるため、カラーユニバーサルな観点を調査項目にすべきだったのではないか。</p> <p>(調査員) ・各者で使用している色が、色覚の特性を踏まえたものになっているか判断できなかったため、調査項目としなかった。</p>		